

いつも聞こえるみんなの声

タウンメール

町のみんなのコミュニケーション

あなたの町政に対する

意見・要望・質問やさまざまな情報をお寄せください

まちづくり政策課政策調整係では、皆さんの声を広く町政に反映させる広聴活動として「タウンメール」を実施しています。

この「タウンメール」は、町民の皆さんの町政に対するご意見・ご要望・ご質問などを記入していただき、最寄りの郵便ポストへ投函していただくというものです。

地域づくりや町づくりなどに関する意見・要望のほか、行政への疑問や情報提供など、あなたが知りたいことや知らせたいことも大歓迎です。お気軽にあなたの声をお聞かせください。皆さんの声が明日の弟子屈町をつくれます。

寄せられた声に対する回答は広報紙への掲載、または、ご本人へ直接通知します。回答につきましては封書を投函していただいた時期により、翌々月の広報紙に掲載となる場合もあるほか、内容によっては回答し兼ねる場合もありますのでご了承ください。

また、匿名の方に対する回答は、いたしかねます。

記入の仕方

- * 町づくりなどに関するご意見・ご要望のほか、行政への疑問や情報提供などのあなたが知りたいことや知らせたいことも、ご自由にお書きください。
- * 誹謗(ひぼう)中傷や営利を目的とした内容はご遠慮願います。
- * 封書は点線にそって切り、折ってノリ付けし、切手を貼らずにそのままポストへご投函ください。
- * この封書の差出有効期限は平成29年3月31日です。それまでにご投函ください。
- * 内容によってはこちらから内容確認を行うことや、直接回答を行う場合がありますので、住所・氏名・性別・年齢・電話番号は必ず記入してください。なお、広報紙に掲載する場合、氏名は公表しません。

◆お問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

あなたの声をお気軽にお寄せください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

いつも聞こえるみんなの声 **タウンメール**

ご住所			
お名前			
電話番号			
年齢	性別	男	女

冬休み 楽しく過ごすためのしおり

冬休み期間
小学校・中学校 / 12月23日(金)～1月15日(日) 弟子屈高校 / 12月22日(木)～1月15日(日)

命を大切にしよう 生活のリズムを守ろう
非行を起こさないようにしよう 事故には十分に注意しよう



- 町民の皆さんへ
- 子どもたちが待ちに待っていた冬休みが、いよいよ始まります。長期の休みでは、普段は経験することができない取り組みを通して、自分自身を高めるチャンスです。しかし、解放感から不規則な生活になったり、不適切な行為に走ったりする恐れがあります。また、活動の範囲が広がるため、事件・事故に巻き込まれる可能性も高まります。
- 子どもたちにとって、この冬休みが楽しく、実り多きものになるとともに、地域の一員として皆さんと関わり合う中で、人と人との絆を強めていってほしいと願っています。
- 皆さんには見守りの輪を広げ、時には声をかけていただけるとありがたいです。地域の子どもたちに関心を持っていただき、ご協力いただけるよう、よろしく願います。
- 弟子屈町生徒指導連絡協議会・町教育委員会
- ▶ 外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝えましょう。
 - ▶ 学校で禁止されている場所(ゲームセンターやカラオケボックスなど)には出入りをしないようにしましょう。
 - ▶ 軒下や雪山、河川や湖の立ち入り禁止区域など、危険な場所には行かないようにしましょう。
 - ▶ 帰宅時間を守りましょう。
(小学校・中学校・高校で異なります)
 - ▶ 小中学生のみでの外泊は禁止です。
 - ▶ 学習にも計画的に取り組み、苦手な範囲を復習しましょう。

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・弟子屈町少年補導委員会
弟子屈警察署 ☎482-2110 川湯駐在所 ☎483-2151

弟子屈小学校 ☎482-2044 川湯小学校 ☎483-2041 和琴小学校 ☎484-2061
 美留和小学校 ☎482-1097 奥春別小学校 ☎482-4819 弟子屈中学校 ☎482-2071
 川湯中学校 ☎483-2337 弟子屈高校 ☎482-2237

料金受取人私郵便
郵便中央局
承認
6092
差出有効期間
平成29年3月
31日まで
(切手不要)

0883292

おたへつ政策課 政策調整係 行

弟子屈町役場

生徒指導連絡協議会便り

12月1日
No.7

ネットトラブルから 子どもを守るために

今年度、本協議会では、本町の児童・生徒を対象に情報端末機(携帯電話・スマートフォン(スマホ)・ゲーム)の利用に関するアンケート調査を計画しています。

総務省の「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査(平成27年)」によると、スマホ・タブレット端末の利用率は全年代で年々増加し、特に10代のスマホ利用率は前年に比べ13.4%増の85%と、初めて8割を上回ったそうです。また、ソーシャルメディアではライン(無料通信アプリ)が最も利用されており、10代で77%、20代で92%が利用、ユーチューブ(無料動画サイト)は10代で87.1%、20代で90%が利用しているといわれています。われわれが10〜20代のころと現在の子どものたちを取り巻く環境が、大きく変わってきています。今やネット問題は全国・全道的な教育課題であり、ここ弟子屈町でも決して無縁ではありません。

入学や進級に合わせて、お祝いや緊急連絡用としてスマホを与えるご家庭は少なくないかと思いますが、それ以外にインターネット環境につながる端末を持つている子どもが多いことは意外と知られていません。具体的には、携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤー、据え置き型ゲーム機や学習用タブレットなどが

あり、スマホや携帯電話、パソコンがないからといって油断は禁物です。無料通信アプリでのやり取りがもとで友達関係にトラブルが発生することがあります。スマホや携帯ゲーム機などでは簡単に写真や動画が撮れるため、気軽に静止画を投稿したり、動画を配信したりする子どもがいます。少しでも多くの人に見てもらうために行動が過激化することもあり、個人情報さらされて悪用されたり、そのことが原因でトラブルに巻き込まれたりする危険性もあります。また、ネット依存による生活リズムの乱れなど、多くの問題が起きています。まずは、町内の子どもたちの実態を正しく理解することから始めたいと思います。学校は、いかにネット社会と上手に付き合っていくか、情報モラル教育の充実を図ることが急務です。ただ、端末を利用している時間の多くは家庭に戻ってからです。家庭教育の役割も大変重要です。教育行政機関や警察、電話会社とも連携しながら、ネットトラブルから子どもたちを守ることが、われわれ大人の責務です。

今後子どもたちの健全育成のために、弟子屈町生徒指導連絡協議会の活動推進に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

弟子屈町生徒指導連絡協議会
副会長 小原 正寿(奥春別小学校小学校長)

町内団体の取り組みを紹介 ～川湯中学校～



白団の団旗

川湯中学校では学祭が10月に開催され、演劇・合唱に加え、今年度は新たな取り組みとして団旗制作を行いました。制作した団旗は次年度の体育大会に使われます。初めての取り組みにもかかわらず、計画から制作まで子どもたちが協力し合いながら一生懸命活動しました。

ハルを行、自由発表で盛り上がりました。また、学祭の期間中は、書記局を中心にK a w a c h u H a p p y S c h o o l L i f e プロジェクトを立ち上げ、お互いの良いところを紙に書いて伝え合う活動を行いました。昨年度から始まったもので、川中の新たな良き伝統として、これからも続けていきたい取り組みです。現在は後期書記局委員会が発足し、1・2年生を中心とした新体制が始まったばかりです。これからの川湯中学校をよりよいものにしていくために、全員で力を合わせて頑張っています。



赤団も工夫を凝らして

協議会から

12月を迎え、今年もあとわずかとなりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

この便りも各方面のご協力を賜り、はや7号の発行となりました。毎回ご協力をいただきありがとうございます。

生徒指導連絡協議会の理念である「町民が一体となって、児童・生徒の健全育成に関わっていく」ことに主眼を置き、今後も関係各団体からの情報発信や、町民の皆さんへの情報提供をしていきたいと考えています。

については今後とも、協議会の活動にご意見やご助力をいただければ幸いです。弟子屈の子どもたちのためにも、町民の皆さんから積極的に事務局までご提案をいただけたらうれしい限りです。

どうぞよろしくお願いいたします。